



学校評価（1学期アンケート）結果と改善策について

校長 妹尾 洋美

名中祭のプログラムがすべて終了し、生徒たちは、達成感、満足感を味わうことができました。今年度の振り返り点を迎えて、気持ちを切り替えて授業に臨んでいます。教職員は、1学期の学校評価結果をふまえて、よりよい教科指導、生徒指導などを目指して改善策に取り組んでいます。各アンケートの結果で、評価が最もよかった項目(◎)と最も低かった項目(▲)、その改善策を掲載いたします。

※目標値は3.2です



生徒 アンケート結果

達成値 ↓

- ◎目標をもち、きまりを守って部活動に参加している。 3.8
- ◎行事や係活動等で、仲間を思いやり、みんなと協力し高め合おうとしている。 3.6
- ▲学校へ行くのを楽しみにしている。 3.0

改善策：共感的な生徒理解を深めて、人間的なふれあいをする。

全教職員によるすき間のない指導体制を整え、愛情と厳しさをもち、きめ細やかな指導をする。

保護者 アンケート結果

- ◎学校は、学校だよりや学年・学級通信で、活動の様子をわかりやすく伝えている。 3.3
- ◎学校は、保護者・地域と教育目標を共有し、学校や生徒の実態に即した教育活動をしている。 3.3
- ◎子どもは、行事や係活動等で、仲間を思いやり、みんなと協力し高め合おうとしている。 3.3
- ◎子どもは、目標をもち、きまりを守って部活動に参加している。 3.3
- ▲子どもは、授業で、課題解決の見通しをもったり学習の振り返りをしたりしている。 2.8
- ▲子どもは、授業で、自分の考えをもち、対話的な学習をしている。 2.8

改善策：保護者の皆様に、教科や行事などの参観や通信をとおして、教育内容、指導の工夫について理解していただけるよう努める。



教職員 アンケート結果

- ◎学校は、行事や参観日等をとおして、積極的に学校を公開している。 3.6
- ◎諸帳簿の点検が定期的に行われ、迅速丁寧な処理に努めている。 3.6
- ◎計画的な予算執行と各会計担当者による遅滞なき会計業務が行われている。 3.6
- ▲時間外在校時間が1ヶ月で45時間以内になっている。 2.5

改善策：教職員がやりがいをもって勤務し、教育の質を高められるよう働き方改革を進める。子どもにとって必要か見直しが適切かを考慮しながら業務の精選をする。



家庭学習習慣を身に付けましょう！！

1 家庭学習のねらい

自分の夢や目標を実現し、将来自立して生きていくためには、望ましい学習習慣を身に付けることが大切です。

- (1) 自分から学習する習慣を身に付ける。
- (2) 基礎学力を身に付ける。さらに、応用力、活用力も身に付ける。
- (3) 自分で目標や課題を決めて、追究する。
- (4) 家庭生活・地域・社会に興味・関心をもち、学習する。
- (5) 読書に親しむ。など



2 各学年の目標

- (1) 1・2年生・・・計画的・継続的に学習しましょう。

※目標時間 1年生80分、2年生90分

- ・家庭での過ごし方を決めて、生活リズムを整えましょう。
- ・家庭学習と部活動などの両立を継続して取り組みましょう。
- ・学習することや働くことの大切さを考えて、自分から取り組みましょう。

- (2) 3年生・・・進路実現に向けて目標を明確にして学習しましょう。

※目標時間 100分

- ・睡眠、食事の大切さを考え、生活リズムを自分で整えましょう。
- ・自分の考えや様々な疑問に真剣に向き合い、目標に向かって挑戦しましょう。
- ・進路の目標の実現に向け、今、何をやる必要があるのかを考えましょう。

3 家庭学習の内容(例)

- (1) 予習をしましょう。・・・授業の前に内容がわかり、集中力が高まります。
- (2) 復習をしましょう。・・・授業でわかったことをしっかり定着させることができます。
- (3) わからないことを調べましょう。・・・自分で解決する能力が高まります。
- (4) テスト対策をしましょう。・・・計画的に学習することにより広い範囲にも対応できます。

※ 「ほっかいどう チャレンジテスト」(北海道教育委員会 作成)

・・・学習内容の定着を目指しています。自分で丸付けもできます。→→→



4 家庭でのポイント

- (1) ほめる・・・努力してできたこと、挑戦しようとしたことを認めて、ほめて、お子さんのやる気を育てましょう。
- (2) 見守る・・・お子さんが家庭学習の計画を立て、取り組む姿を見守り、応援して、自主性を育てましょう。
- (3) 決める・・・スマートフォンやゲームをする時間の約束を家族と一緒に決め、1日の時間を大切に作る意識を育てましょう。

※学習以外でメディアにふれる時間

- ・目標時間 1日合計 2時間以内
- ・時間帯 中学生 22時以降使用しない、小学生 21時以降使用しない

☆参考資料

「ほぼわかる！名寄中学校」(名寄中学校 発行)

「新入生説明会資料」(名寄中学校 発行)

「話し合おう！メディアの使い方」(名寄市PTA連合会発行)

「家庭で取り組む7つのポイント」(名寄市教育研究所 発行)

「時間の目安を決めて子どもの生活リズムを整える！」

(北海道教育委員会 発行)

「北海道の子どもたちの健やかな成長を願って」

(北海道・北海道教育委員会・北海道PTA連合会)

